

2010 年秋(9 月～11 月)の東北地方の天候

- 高温
- 東北南部の多雨
- 寡照

(1) 2010 年秋(9 月～11 月)の天候

9月上旬は、勢力の強い太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多かった。その後は太平洋高気圧が後退し、天気は概ね数日の周期で変化した。10月にかけては低気圧や前線の影響で、東北太平洋側を中心に曇りや雨の日が多く、東北南部を中心に降水量が多くなった。

気温は、9月の下旬や10月の下旬に一時的に寒気の影響を受けたが、9月上旬は勢力の強い太平洋高気圧におおわれて残暑が厳しく、10月から11月にかけては南から暖かい空気が流れ込むことが多く、平年に比べて寒気の流入が弱かったため、高温となった。

3 か月平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。3 か月間降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。3 か月間日照時間は東北地方で少ない。

9 月： 上旬は、勢力の強い太平洋高気圧におおわれて晴れて暑い日が多かった。中旬から下旬は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、各地で大雨となった日があった。このため、月降水量は東北南部を中心にかなり多くなった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。月間日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。

10 月： この期間、天気は数日の周期で変わったが、東北太平洋側は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。下旬の中頃は一時的に冬型の気圧配置となり、各地の山で初冠雪を観測し、青森では初雪を観測した。気温は、下旬の後半は寒気の影響で低温となったが、その他は南から暖かい空気が流れ込んだため高温の日が続いた。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。月間日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。

11 月： この期間、低気圧や気圧の谷と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。低気圧や気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となった日もあり、中旬の中頃には秋田、盛岡で初雪を観測し、下旬の終わりには山形で初雪を観測したが、冬型の気圧配置は長続きしなかった。気温は、南から暖かい空気が流れ込むことが多く、寒気の流入が弱かったため高温となった。

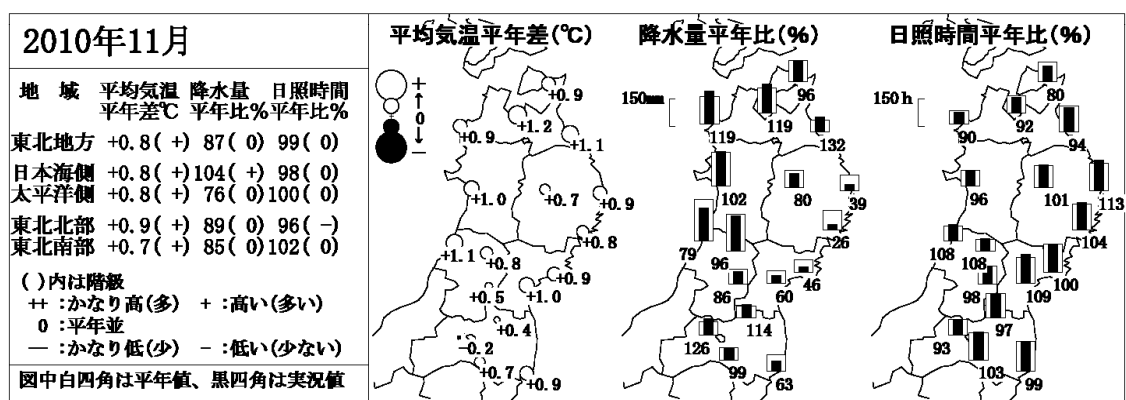
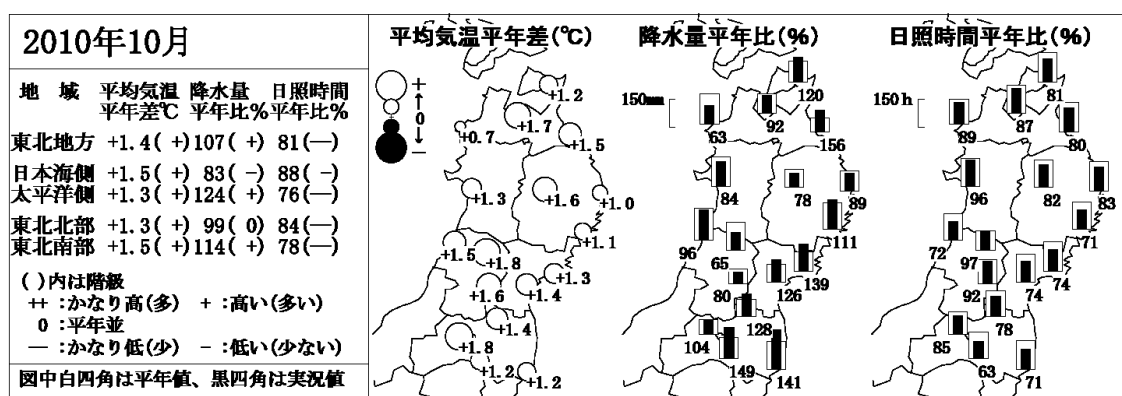
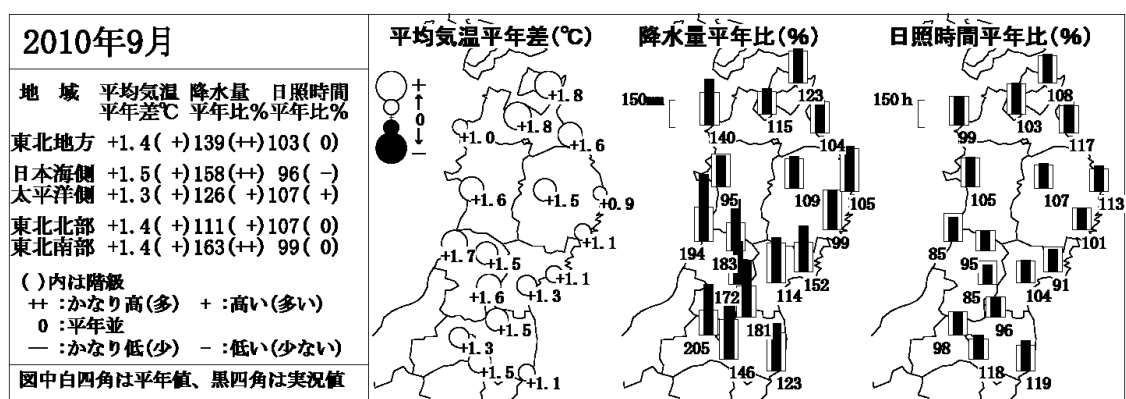
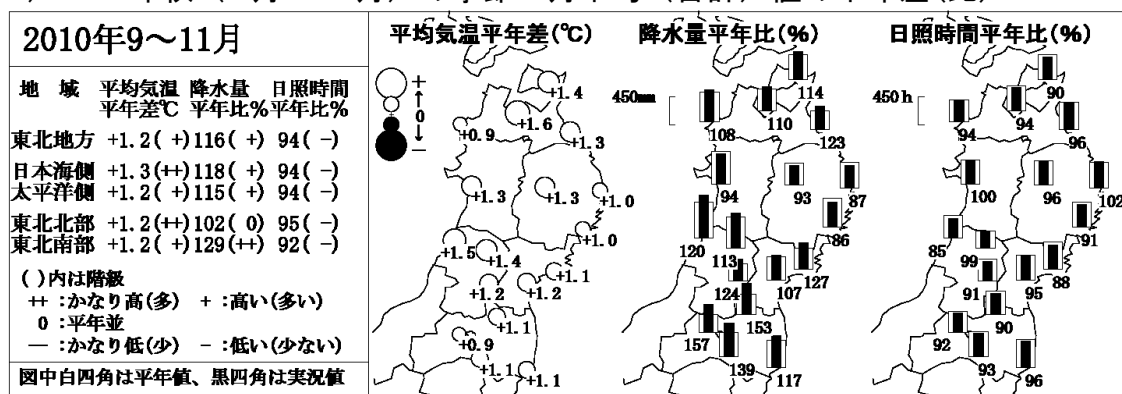
月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。月間日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

(注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971～2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(2) 2010 年秋 (9 月～11 月) の季節・月平均 (合計) 値の平年差 (比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注) 東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方
 東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方
 東北北部：青森県、秋田県、岩手県
 東南北部：宮城県、山形県、福島県

(3) 2010 年秋 (9 月～11 月) の気候表

地 点 名		平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数	日照時間(平年比) 階級		
		(℃)	(℃)		(mm)	(%)		≥1mm	(h)	(%)	
青 森		14.2	(+1.6)	+*	392.0	(110)	+	36	381.9	(94)	—
深 浦		14.2	(+0.9)	+	525.5	(108)	○	44	339.2	(94)	○
む つ		13.5	(+1.4)	+*	462.0	(114)	+	36	371.5	(90)	—
八 戸		14.0	(+1.3)	+*	376.5	(123)	+	31	426.1	(96)	○
秋 田		15.0	(+1.3)	+	489.5	(94)	○	46	385.9	(100)	○
盛 岡		13.2	(+1.3)	+*	322.5	(93)	○	34	375.3	(96)	—
大 船 渡		14.8	(+1.0)	+	400.5	(86)	—	27	369.7	(91)	—
宮 古		14.1	(+1.0)	+*	369.5	(87)	○	22	432.4	(102)	○
仙 台		16.0	(+1.2)	+	412.5	(107)	○	26	390.3	(95)	—
石 巻		15.2	(+1.1)	+	423.0	(127)	+	24	389.3	(88)	—*
山 形		14.6	(+1.2)	+	362.0	(124)	+	29	325.7	(91)	—
新 庄		13.9	(+1.4)	+*	566.0	(113)	+	41	273.9	(99)	○
酒 田		16.2	(+1.5)	+*	703.0	(120)	+	46	316.9	(85)	—
福 島		15.9	(+1.1)	+	501.0	(153)	+*	26	343.2	(90)	—
若 松		14.3	(+0.9)	+	448.0	(157)	+*	31	307.5	(92)	○
白 河		14.4	(+1.1)	+	546.0	(139)	+*	28	373.1	(93)	—
小 名 浜		17.1	(+1.1)	+	524.5	(117)	+	26	431.4	(96)	—

(注) 1. 平年値は 1971～2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

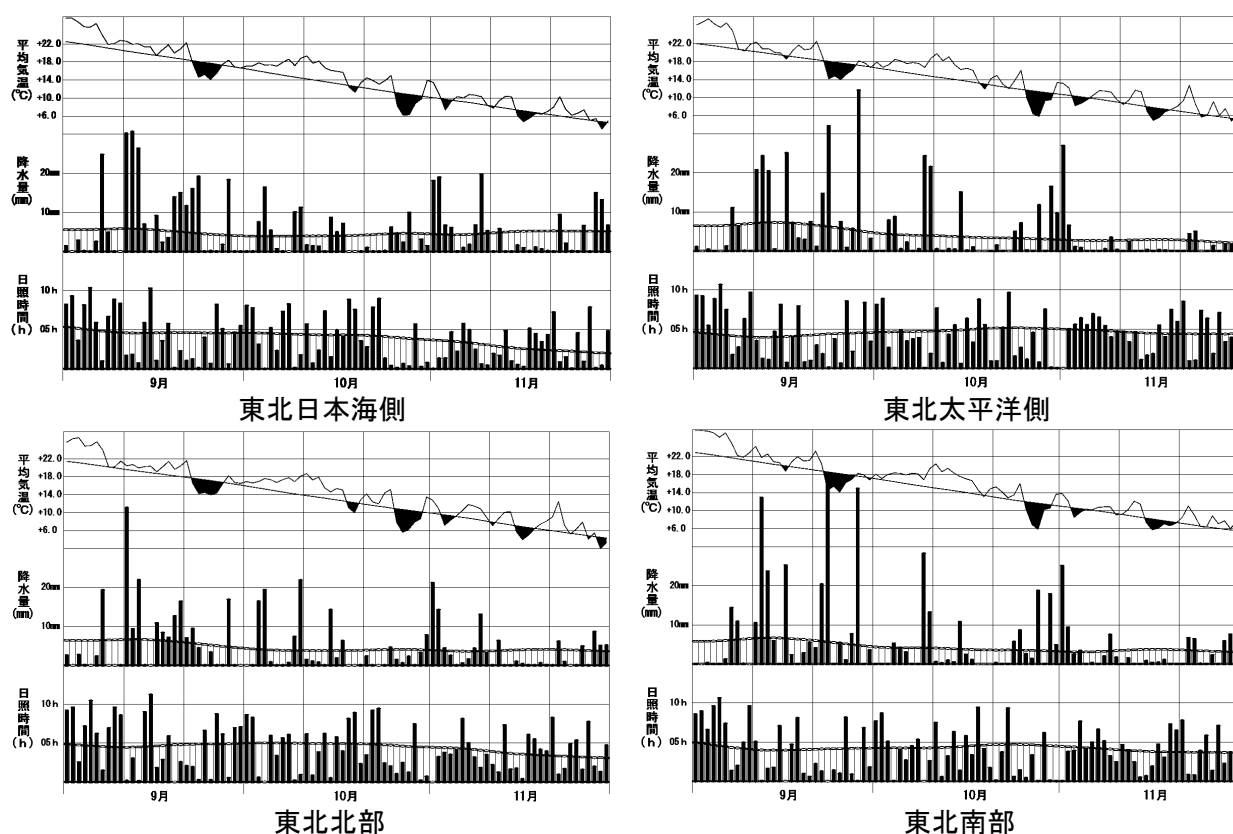
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、3 か月別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計月数(統計に用いた、品質が十分な月別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(4) 2010 年秋 (9 月～11 月) の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(5) 2010 年秋 (9 月～11 月) の極値・順位更新

(3 か月平均気温、3 か月間降水量、3 か月間日照時間の 3 位以内のみ)

3 か月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
2	むつ	13.5 =	+1.4	13.8 (1990)	1935	12.1
3	八戸	14.0 =	+1.3	14.3 (1990)	1936	12.7
	盛岡	13.2 =	+1.3	13.6 (1990)	1924	11.9
	酒田	16.2	+1.5	16.7 (1990)	1937	14.7

3 か月平均気温低い方からの順位更新

3 位以内はなし

3 か月間降水量多い方からの順位更新

3 位以内はなし

3 か月間降水量少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

3 か月間日照時間多い方からの順位更新
3 位以内はなし

3 か月間日照時間少ない方からの順位更新
3 位以内はなし

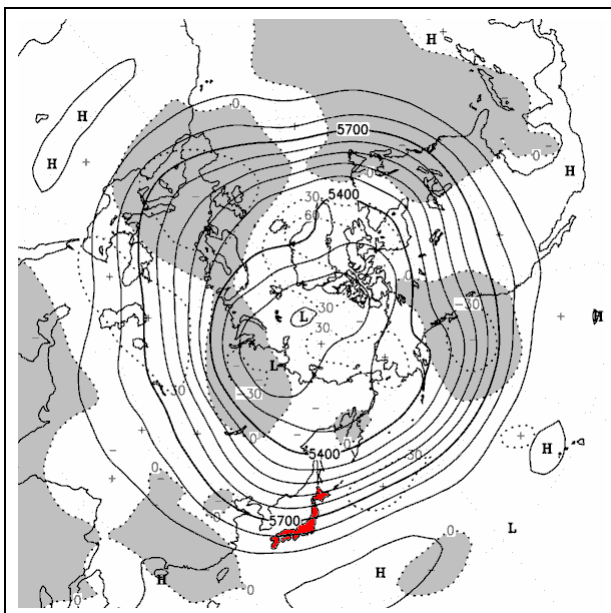
(注) 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

(6) 月統計値の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計値多い方、月最深積雪大きい方の 1 位のみ。)

なし

(7) 北半球の大気の流れ (9 月～11 月)



9 月～11 月の平均 500hPa 高度・平年偏差図
実線は高度 (m)、間隔 60m。破線は偏差 (m)、間隔 30m。陰影部は負偏差域。

日本付近は日本の東海上に中心をもつ正偏差におおわれたが、朝鮮半島から東シナ海付近は気圧の谷となり、日本付近では西南西の流れが卓越した。このため、日本付近には南からの暖かく湿った空気が流れ込みやすく、北からの寒気の流入が弱かった。

(8) 2010/2011 年寒候期 季節現象

12 月 1 日 15 時 00 分現在の状況

2010/2011 年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	10. 30	10. 23	10. 25	11. 17	10. 29	11. 3	10. 26	11. 7	11. 2
秋田	11. 17	11. 6	×	11. 27	11. 13	11. 3	11. 15	11. 12	11. 2
盛岡	10. 19	10. 18	10. 23	10. 27	10. 24	11. 3	11. 15	11. 8	11. 3
仙台	11. 17	11. 6	11. 22	11. 24	11. 16	11. 22		11. 22	12. 7
山形	11. 12	10. 24	11. 18	11. 12	10. 29	11. 18	11. 29	11. 16	11. 3
福島	11. 19	11. 6	11. 4	11. 19	11. 11	11. 4		11. 24	12. 14

※昨年の秋田の初霜は、積雪によって霜が観測できなかった期間があり、欠測(×)となりました。

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハッコウダサン 八甲田山	1585	10. 26	10. 16	11. 2	ガンドサン 雁戸山	1485	10. 27	10. 28	11. 2
イワキサン 岩木山	1625	10. 27	10. 15	11. 4	リュウザン 瀧山	1362	10. 27	10. 30	11. 2
タイヘイザン 太平山	1170	10. 26	10. 31	11. 2	イズミガタケ 泉ヶ岳	1175	11. 29	11. 6	11. 3
イワテサン 岩手山	2038	10. 27	10. 13	10. 10	ザオウザン 蔵王山	1841	10. 27	10. 23	11. 3
ガッサン 月山	1984	10. 29	10. 15	11. 4	アヅマヤマ 吾妻山	1949	10. 27	10. 21	11. 3
アサヒダケ 朝日岳	1871	10. 27	10. 19	11. 4					

注:蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。

※平年値に関するお知らせ

気象庁では、現在は 1971-2000 年の統計による平年値を使用していますが、2011 年 5 月の中頃から 1981-2010 年の統計による新しい平年値を使用する予定です。

天候のまとめでは、2011 年(平成 23 年)6 月 1 日に発表する「2011 年 5 月の天候」および「2011 年春(3 月～5 月)の天候」から新しい平年値を使用する予定です。